

## 洲本市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度計画と実績

## 1 幼児期の教育・保育

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画(確保方策)との差
1号認定	340人	340人 (確認を受けない幼稚園179人含む)	312人 (確認を受けない幼稚園137人含む)	▲28人
2号認定	557人	557人	706人	149人
3号認定	351人	351人	331人	▲20人
合計	1,248人	1,248人	1,349人	101人

## 【今後の方向性】

平成27年度実績は「1,349人」で、平成27年度の量の見込み「1,248人」を上回る結果となっています。待機児童は発生していませんが、特に、2号認定につきましては、大幅な利用過剰となっています。この要因としては、特に洲本地区内市街地の保育所(園)への利用希望が多く、利用調整を行い対応しています。

今後、計画と実績の乖離が続くようであれば、計画の見直しも検討して参りたいと考えています。

## 2 時間外保育事業(延長保育事業)

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	142人	142人	335人(※)	193人

(※)短時間認定154人、標準時間認定181人

## 【今後の方向性】

平成27年度の利用状況は確保方策を大きく上回っています。今後、計画と実績の乖離が続くようであれば、計画の見直しも検討して参りたいと考えています。

### 3 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
登録児童数	432 人	432 人	331 人	▲101 人

#### 【今後の方向性】

平成28年度より、学校施設の余裕スペースを活用することにより、休止していた中川原小学校区の児童クラブを定員20名で再開しました。また、定員の弾力的な運用により、平成27年度は全ての利用希望者の受け入れを行いました。一部の児童クラブについては定員超過が発生していることから、適正に受け入れできる環境づくりを進めて参りたいと考えています。また、高学年までの受け入れや児童の安全な保育環境を図る観点からも、市所管施設の有効活用や小学校の余裕教室等の活用促進を目的に教育委員会事務局との施設利用に係る協議を継続して行いたいと考えています。

### 4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間延べ 利用人数	10 人日	10 人日	0 人	▲10 人

#### 【今後の方向性】

平成27年度より本事業を開始していますが、平成27年度は利用がなく平成27年度の量の見込みを下回っており、確保の方策においても充足している状況となります。

引き続き、保護者の疾病等の理由により養育を受けることが一時的に困難となった児童に対する支援の強化に努めます。

## 5 地域子育て支援拠点事業

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
4,655 人回	0 箇所	0 箇所	—

### 【今後の方向性】

地域子育て支援拠点事業については現在実施していませんが、市内に設置している児童館・児童センターや子育て学習センター等の機能を有効に活用し、提供体制に努めています。今後、子育て学習センター所管課と調整を行い、さらにより多くの利用につながるよう内容の充実に取り組みます。

## 6 一時預かり事業

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間延べ 利用人数	19,492 人	19,492 人	18,780 人 (※)	▲712 人

(※) 幼稚園型18,113人、幼稚園型を除く667人

### 【今後の方向性】

平成27年度については現状での確保方策で充足している状況にあります。平成28年度においては、保育所での一時預かりを公立保育所では2か所（由良保育所、鳥飼保育園）と、民間保育所では大野保育所を加え、3か所全ての保育所で実施しています。

## 7 病児・病後児保育事業

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	実施箇所数
312 人日	0 人日	0 人日	—

### 【今後の方向性】

現在、病児・病後児保育事業については実施しておりません。施設整備と関連付けるなど、実施手法を検討してまいります。

## 8 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
144 人日	0 人日	0 箇所	—

### 【今後の方向性】

ファミリーサポートセンター事業については、現在実施しておりません。利用者ニーズについては、一時預かり事業（0～5歳）、放課後児童クラブ等で対応を行っているところですが、公的サービスでは対応が難しいニーズに応える大切な事業であると位置づけ、事業発足に向けた準備を行い、開設を目指します。

## 9 利用者支援事業

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
1 箇所	1 箇所	0 箇所	▲ 1 箇所

### 【今後の方向性】

利用者支援事業については、現在実施できておらず、情報提供や相談業務、関係機関との連絡調整は各事業の担当課窓口で行っている状況です。新庁舎の整備等に合わせ、利用者支援事業の実施について検討して参る考えです。

## 10 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

	計画		実績	
	量の 見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	302 人	302 人	275 人	▲27 人
実施体制	—	実施体制： 保健師・助産師・家 庭児童相談員により 対象家庭を訪問	確保方策の記載 内容にて実施	—

### 【今後の方向性】

平成27年度については、現状の確保方策で充足している状況です。今後も引き続き、全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い育児に関する不安の解消を目指します。

## 11 養育支援訪問事業

	計画		実績	
	量の 見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	4 人	4 人	2 人	▲2 人
実施体制	—	実施体制： 2人の訪問員により 対象家庭を訪問	確保方策の 記載内容に て実施	—

### 【今後の方向性】

量の見込み数に関わらず、要保護児童等に対する支援のために要保護児童対策協議会における関係機関との連携強化に努めるとともに、支援が特に必要な対象者の家庭に対しヘルパー等を派遣し、引き続き育児不安の解消に努め、さらに相談技術のスキルアップを図っていきます。

## 12 妊婦健康診査

	計画（H27 年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間受診 延べ人数	381 人	381 人	518 人	137 人
実施体制	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手 法：助成券交付</li> <li>・実施機関： 兵庫県内妊婦健康診査協力医療機関（協力医療機関以外で受診された場合償還払いで対応可）</li> <li>・基本的な妊婦健康診査</li> <li>・その他の妊婦健康診査にかかる検査</li> </ul>	助成方法の変更によるカウント数変更により、利用人数が増加している	—

### 【今後の方向性】

本事業は、妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるために重要であることから、今後も本助成を実施し、積極的な受診を促進するために支援してまいります。